

臨床研究「中規模病院における多職種連携による AST 活動の工夫とその効果」について

神鋼記念病院に入院歴のある患者さん、または現在入院中及び通院中の患者さんへ

実施する臨床研究

当院では、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) が、介入した患者さんに関する臨床研究を実施しております。この研究は、「観察研究」と呼ばれるもので、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。

以下の点をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

研究目的・意義

当院では、抗菌薬の適正使用を推進するために、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師など多職種で構成された AST が活動しています。AST は、感染症に対して使用される抗菌薬が、適切な種類・量・期間で使用されているかを確認し、必要に応じて診療科への提案・介入を行っています。

本研究では、過去に AST が介入を行った患者さんの診療情報を用いて、介入の内容とその結果を整理・分析し、AST の活動が抗菌薬の適正使用や治療成績にどのような影響を与えているかを明らかにすることを目的としています。この研究により、今後さらに効果的な AST 介入方法の確立や、他施設への展開に寄与できると考えております。

研究方法

本研究は後ろ向き観察研究です。2024 年 4 月から 2025 年 3 月の間に当院で AST の介入を受けた入院患者さんを対象に、電子カルテに記録されている診療情報（年齢、性別、基礎疾患、感染症の種類、使用された抗菌薬、検査結果、治療経過など）を用いて実施します。

研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

研究へのデータ提供による不利益・危険性

患者さんの診療情報を分析する研究であり、プライバシーも厳重に保護されますので、患者さんに不利益や危険性はありません。また、追加の検査や余分な費用を負担していただくこともありません。

研究への参加とその撤回について

事例報告の発表にご協力いただくかどうかは、ご自身やご家族のお考えで、自由に決めていただきます。お断りになっても不利益を受けることはありません。ただし拒否のお申し出のあった時点ですでに研究結果が公表されていた場合は、完全に破棄できないことがあります。

個人情報の保護について

この研究で得た情報は神鋼記念病院院内サーバーに作成した管理用ファイルで厳重に管理され、学術目的のみで利用されます。検査結果や診療情報は統計として処理・解析されるため、個人を特定できることはありません。本研究参加者以外の第三者に流出することはありません。尚、研究目的以外にデータを使用することはありません。

問い合わせ窓口

神鋼記念病院 診療技術部薬剤室

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47

TEL：078-261-6711・FAX：078-261-6726

主たる研究者 薬剤師 : 真砂 聖

研究責任者 薬剤師 : 依藤 健之介